

各大学関係学部長 殿

東北大学理学部長
都築 暢夫
(公印省略)

単位互換制度による公開臨海実習について（通知）

このことについて、別紙実施要項により実施することになりましたので、お知らせします。添付の実施要項を掲示いただき、周知していただければ幸いです。

つきましては、貴学部において参加希望の学生がおりましたら、下記書類を 2025年7月11日（金）【必着】までに東北大学理学部教務係宛、御送付願います。

なお、受け入れの可否については、7月中に通知いたしますが、参加希望者が定員を超過した場合は、本学部において参加者を決定しますことを申し添えます。

また、本実習に参加する学生（学部2年生～4年生）については、本学部における特別聴講学生（単位修得可能）として受け入れ、大学（学部）間交流協定を締結しているものとみなし、授業料は相互に不徴収として取り扱います。

記

※提出書類

1. 特別聴講学生願書（別紙様式1）
2. 学部長推薦書（別紙様式2）
3. 成績証明書
4. 写真（上半身、無帽、正面向き、6cm × 4.5cm）1枚
5. 学生教育研究災害傷害保険及び学生教育研究賠償責任保険の加入証明書
（領収書の写し、または本人の加入申込書のコピーでも可）
6. 他大学の公開臨海・臨湖実習受講歴（別紙様式3）

*上記の申請書類の提出に加えて、下記のグーグルフォームへの入力をお願いします。

URL: <https://forms.gle/UUPfRdzv2jKgAnJi6>



応募書類送付先： 東北大学理学部教務課学部教務係
〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
TEL 022 (795) 6350

※諸調整のため、正式な受け入れ回答の前に担当教員より学生に直接連絡をいたします。御了承願います。

2025 年度 公開臨海実習（A コース） 実施要項

1. 授業科目 海洋生物学実習 II（学部、2 単位）
2. 実施場所 東北大学大学院生命科学研究科附属浅虫海洋生物学教育研究センター
3. 実施期間 2025 年 8 月 8 日（金）～8 月 15 日（金）
4. 対象学生 国立・公立・私立大学の学部 2～4 年生
5. 定 員 特になし
6. 担当教員 岩崎 藍子・福森 啓晶（浅虫海洋生物学教育研究センター）
7. 実習内容 8 月 8 日（金）：午後 4 時半までに浅虫教育研究センター学生実習室に集合し、その後ガイダンス。
8 月 9 日（土）～8 月 14 日（木）分類学実習/生態学実習
8 月 15 日（金）朝食後解散

北の海，潮間帯のフィールド生物学

海と陸の境界である潮間帯では狭い垂直範囲内で環境が急激に変わる。生物の分布はそのような環境勾配や生物間相互作用の影響を受けて決まっている。本実習では、潮間帯および潮下帯の生物を対象とし、生物の分布とそれを規定する要因に関するテーマについて、学生が対象生物の特性を生かした観察を自発的に発展させながら、問題点を解明してゆく。本実習では 2 名の教員が以下の 2 つの実習を実施する。参加者はいずれかを選択して履修する。

分類学実習（担当：福森啓晶）

潮汐の影響を受ける潮間帯には岩礁・砂浜・干潟などの様々な環境が存在し、多種多様な底生生物が棲息する。底生生物の中でも、貝類は特に多様化した一群で様々な形態・生態をもつ。本コースでは、浅虫周辺に棲息する貝類を始めとした底生生物の多様性を明らかにすることを目指す。コースを通して様々な環境で底生生物を採集し、特に貝類の観察法・同定法を習得する。また貝類の体の構造についての理解を深め、棲息環境や生態による差異を検討する。

生態学実習（担当：岩崎藍子）

海と陸の境界である潮間帯では様々な生物がひしめき合って生息している。どのような生物が共存できるかは生物同士の関わりや非生物的な環境条件に大きく影響される。本実習では潮間帯および潮下帯の生物を対象とし、生物の多様性とそれを規定する要因に関するテーマを学生自身で設定する。実習では多様性を定義し、それを実測するためのフィールド調査を組み立て、実践する。調査で得られたデータは必要に応じて解析を行う。実習の最後にはグループ毎に成果を紹介し、他のグループの成果についても理解を深める。

<感染症対策>

以下のような感染症対策を行います。

- ・実習参加前 5 日間の健康状態チェック（風邪の症状＋体温）を実施してください。
- ・実習参加前 5 日間に発熱等の体調に異常のあった方は速やかに担当教員に連絡をしてください。
- ・実習参加中も毎日の健康状態チェック（風邪の症状＋体温）を継続してください。
- ・施設の入り口付近に体温測定器を設置し、利用前の発熱者有無を毎日確認します。
- ・施設内では定期的に換気を実施します。
- ・顕微鏡や実習器具はできる限り他学生と共用しないよう準備します。

詳細については別紙「他教育研究機関の実習用外部利用受け入れについて」をご確認ください。状況が変わる可能性がありますので、参加前に必ず施設のウェブサイト（<http://www.biology.tohoku.ac.jp/lab-www/asamushi/index.html>）で最新情報をご確認ください。参加には感染防止対策を遵守願います。

8. 参加費用 **実習に要する費用は食費 9100 円と寝具クリーニング代 600 円に加え、実験棟の光熱費 (最大 3000 円程度)**です。授業料は徴収しません。宿泊は原則として構内の学生宿舎を利用します。費用は寝具クリーニング代 (600 円、1 回) のみで、宿泊費は免除されます。
光熱費は参加者の人数によって変わるので、参加者が確定次第、金額をお知らせします。費用は実習開始時に徴収するので、お釣りのないように準備してください。
9. 食事 **食事は朝食を除き 1 日 2 食を提供します(昼食 700 円、夕食 700 円)**。朝食は宿舎食堂では提供しません (近所にコンビニがあります)。構内の学生宿舎には収容人数の上限がありますので、受講生数が多い場合は、日程の変更・調整やセンター外の宿泊施設の利用をお願いする場合があります。その際は改めて連絡します。
10. 実習に必要な用品など
体温計、学生証、健康保険証またはそのコピー、筆記用具(スケッチ用鉛筆を含む)、ノート、パワーポイントがインストールされている PC、タブレット、水着等水に入っても差し支えない服装、海で濡らしても差し支えない運動靴(普段用とは別に)あるいはスキューバダイビング用ブーツなど(サンダルは不可)、軍手あるいはマリングローブ、帽子などの熱中症対策用品、雨天でも野外調査可能な雨具。なお、参加学生は学生教育災害障害保険に加入している必要があります。
11. 受講の可否は決定後 (7 月中) E-mailで連絡します。
12. 問合せ先

〒039-3501 青森市浅虫坂本 9 番地
東北大学大学院生命科学研究科
附属浅虫海洋生物学教育研究センター
Tel 017-752-3388 Fax 017-752-2765
e-mail aiko.iwasaki.a8@tohoku.ac.jp

13. 参考
- 浅虫海洋生物学教育研究センター
<http://www.biology.tohoku.ac.jp/lab-www/asamushi/>
 - 全国臨海・臨湖実験所ホームページ
<http://www.research.kobe-u.ac.jp/rcis-kurcis/station/default.html>

特別聴講学生願書
東北大学理学部長 殿

大学及び学部名.....大学.....学部
学科及び学年.....学科.....年
学 籍 番 号.....
(ふ り が な)
氏 名.....
生年月日・性別.....年 月 日生 男・女
電子メールアドレス.....@.....
携帯電話番号.....

下記のとおり、貴学部の授業科目を履修したいので、関係書類を添えてお願いします。

記

1. 履 修 希 望 期 間 海洋生物学実習Ⅱ
2025 年 8 月 8 日 (金) ～8 月 15 日 (金)
2. 授業科目・単位・担当教員等
 - ・ 授 業 科 目 海洋生物学実習Ⅱ
 - ・ 単 位 2 単位
 - ・ 担 当 教 員 岩崎 藍子・福森 啓晶
 - ・ 年度・期別 2025 年度・前期
3. 現 住 所 〒.....
Tel.....*上記携帯と同じ場合は記入不要
4. 保 護 者 連 絡 先 〒.....
(住所・氏名・続柄) 氏名.....(続柄).....
Tel.....
5. 在籍大学の指導教員 氏名.....
Tel.....

(別紙様式 2)

推 薦 書

大学及び学部名.....大学.....学部
学科 及び 学年.....学科.....年
学 籍 番 号.....
(ふ り が な)
氏 名.....

上記の者は、単位互換制度による特別聴講学生として、貴学部が 2025 年度に開講する科目「海洋生物学実習Ⅱ」を受講することが適当と認め、推薦します。

東北大学理学部長 殿

2025 年 月 日
学部長名・職印

(別紙様式 3)

他大学の公開臨海・臨湖実習受講歴

受講希望者名.....

所 属.....

受 講 歴

実施大学名	施設名	年度

記 入 例

実施大学名	施設名	年度
東北大学	浅虫海洋生物学教育研究センター	2024